



令和5年度 豊間小学校の教育

授業力
ファシリテーター能力
コーディネート力



教師

自己管理能力
学級経営能力
経営参画能力

基礎学力・活用力
判断・表現力
学びに向かう力
人間性の涵養



児童

認め合い思いやる心
健康・体力、運動能力
生活習慣・学習習慣

とよまっ子は思いやりいっぱい(よ)りよいめあてに向かって最後まで なか(ま)とともに学び高め合う

自ら考え ともに学び合う子ども(知)

「元気・やる気・根気」 3つの「気」を高めて輝く子ども

最後までがんばる 健康でたくましい子ども(体)

1 個に応じた指導を充実させ、一人ひとりの持てる力を十分に引き出します。

- 学びに向かう力の向上に向け、子どもの特性や一人ひとりに応じた手立てを講じます。
 - 個別最適な学びと協働的な学びの充実に向けた指導の工夫
 - タブレットPCの有効活用(自ら考え学び合う児童の育成)
 - 特別に支援を要する児童への指導の充実(校内特別支援員会での話し合いと保護者との連携)
- 各種調査結果をもとに、学習の状況を把握し、一人ひとりの課題を明確にします。
 - 学力調査(NRT,県,全国)の実施と結果分析・活用
 - 活用力育成シート、国算ワークテストの実施と活用

2 望ましい学習習慣・生活習慣の定着を図り、学力を高めます。

- 学習習慣・生活習慣定着に向けた指導を行います。
 - 次時の準備をする休み時間(チャイムの意識化)
 - 長期休業事前指導の実施
 - NRT学力診断テスト事前事後指導の実施
 - 授業参観時懇談会、教育相談、各種たよりによる保護者への啓蒙(家庭学習スタンダードの活用)
- 家庭の協力を得ながら、学習習慣や生活習慣定着のための取り組みを行います。
 - 早寝・早起き・朝ご飯の推奨
 - 家庭学習強化期間の実施(小中連携)
 - 家庭学習表、生活表の活用
 - メディアコントロールデー(毎月0のつく日)の実施

3 授業力を高め、基礎・基本の確実な定着と活用力の向上を図ります。

- 現職教育を組織的に進め、授業の腕を磨きます。
 - 主体的・対話的で深い学びのある授業の充実
 - 授業研修会の実施(一人一授業)※中学校との連携見学会
 - 関係機関との連携※講師を招き、授業力向上を図る。
- 学校経営に積極的に参画し、指導力を向上させます。
 - 学力診断テスト(NRT)校内数値目標(偏差値53)
 - 情報活用能力(情報モラルを含む。)の育成
 - 教職員人事評価に基づいた個人研修の実施
 - 授業スタンダードの活用

豊かな心を持ち 思いやりのある子ども(徳)

1 よさを認め合い助け合う活動を通して、豊かな心をはぐくみます。

- お互いを尊重し、認め合う心を育てます。
 - 一人一人のよさを確認する場の設定(子どもの伸びを認める)
 - 自己有用感の育成(安心できる集団、みんなに役に立っていることを認め合える風土)
 - お互いを認め合う場づくり(道徳、学級活動、学校行事等)
- 特別支援教育の充実を図ります。「みんなちがってみんないい」
- 異学年児童等との交流を通して、相手を思いやる心を育てます。
 - 縦割り班による集会活動・清掃活動の効果的な実施
- 道徳教育を充実させ、豊かな心をはぐくみます。
 - 道徳科の授業を通して道徳的判断力・実践意欲と態度の育成
 - 「ふくしま道徳教育資料集『絆』」の積極的活用
 - 重点指導項目を位置づけ、命の大切さの内面化を図る。(※自分や周りの人の命を守るための判断力・実践力の育成)

2 地域との共同によるあいさつ指導を実施します。

- 朝の交通指導(小・中教職員、保護者、地域見守り隊、駐在所等)
- 全校集会や学級活動時のあいさつ指導の徹底
- 場や相手に応じたあいさつ(心が伝わる)の実践

3 豊かな心をはぐくむための心の教育を行います。

- 学んだことや身に付けたことを学習や生活の向上に生かす力を育成します。(豊間だからこそ、豊間にしかできない)
 - 創立150周年における感謝の気持ち・愛校心の醸成
 - 地域素材・人材を活用した学習活動(サンドアート体験など)
- 震災の影響などを考慮しながら、心のケアを行います。
 - 子どもに寄り添う機会の創出や教育相談の実施
 - スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど関係機関との連携

1 体力を高め、運動能力の向上を目指します。

- 体力・運動能力向上に組織的に取り組みます。
 - 運動する「時間/空間/仲間」の確保
 - 教員の指導力の向上と体育の時間の充実(ふくしまっ子児童期運動指針を踏まえた実践)
 - 運動意欲の向上と生活習慣の改善(自分手帳の活用)
- 体力・運動能力向上のための取り組みを、業間体育等において年間を通じて計画的に行います。
 - 新体力テストや健康診断等による課題の把握
 - 年間重点指導事項⇒筋持久力、敏捷性

2 健康の保持増進のための取り組みを、計画的に進めます。

- 健康の保持増進や生活習慣の改善のための保健指導等に、組織的に取り組みます。
- 養護教諭と担任による保健指導の実施
 - 食育コーディネーターを中心とした食育指導の充実
 - 関係機関との連携による学校保健委員会の充実
 - 家庭への健康や生活習慣に関する情報の提供(自分手帳の活用)

3 危険予知と危機回避能力の育成を図る共に、安心・安全を確保します。

- 家庭や地域、関係機関と連携を図り、危険を予知し回避できる力を育てます。
 - 保・小・中合同避難訓練の実施(年3回)
 - 学校行事や学級活動における、防災・減災や安全指導の計画的実施(いわき震災伝承みらい館との連携)
- 安心・安全確保のための取り組みを、家庭や地域、関係機関と連携しながら進めます。
 - 保護者と連携した緊急時避難路及び待避場所の確認と点検
 - 非常時連絡体制や送迎体制の確立(緊急引き渡し訓練の実施)
 - 保護者児童送迎時の安全確保と注意喚起
 - 徒歩通学における地域との連携と安全指導(課題解決と安全指導)
 - 感染症予防への積極的な取組と熱中症予防

<本校の学校目標にキャリア教育の基本方針> (グランド・デザインとの関連)

○自己及び他者への積極的関心の形成・発展 ○身の回りの仕事や環境への関心・意欲の向上 ○夢や希望、憧れる自己イメージの獲得 ○勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の育成